

平成 28 年第 3 回議会定例会（諸般の報告）

開会に当たり、諸般の報告を申し上げます。

はじめに、「台風 9 号及び 10 号への対応等」について申し上げます。

8 月 22 日に上陸し、関東地方に大きな被害をもたらした台風 9 号ですが、本市における被害については、公共施設では、市役所で雨漏りと一部浸水、市内の小中学校の一部でガラスの破損や雨漏りなどがありました。

その他、道路数か所で冠水・倒木等、神々廻、清戸、谷田及び十余一で倒木による一時停電、農作物では、梨が若干落ちたところもあったなどの被害報告を受けておりますが、幸いに大きな被害はありませんでした。

市の対応につきましては、当日は、午前 7 時 30 分から午前 11 時まで注意配備、午前 11 時から午後 5 時 15 分まで警戒配備、5 時 15 分から午後 9 時まで注意配備体制をとり、情報収集、市内巡回及び冠水への対応や倒木等の処理を行いました。

避難所につきましては、午前 11 時から午後 6 時 30 分までの間、市内 4 か所、具体的には白井駅前センター、公民センター、福祉センター及び富士センターに開設しましたが、避難した方はいませんでした。

8 月 30 日に千葉県沖を通過した台風 10 号につきましては、台風の接近に備え、情報収集に努めたところですが、本市からは進路が逸れたため、被害はありませんでした。

本日 9 月 1 日は防災の日でございます。

市では、市民の安心安全のため、毎年小学校区単位で防災訓練を実施しており、今年は、11 月 13 日日曜日に桜台小学校で、新たにシェイクアウト訓練を取り入れ実施します。

また、大規模災害時には自助・共助・公助の連携が大切なため、自治会・市民との連携が強く求められており、市では自治連合会小学校支部と連携し、各地域での防災訓練の実施などについて引き続き支援してまいります。

次に、「白井市出身として初めてオリンピックに出場した、安藤美希子選手」について申し上げます。

本年第2回定例会でご報告いたしましたとおりブラジル・リオデジャネイロで開催された第31回オリンピック競技大会に出場した安藤美希子選手は、日本時間で8月9日午前3時過ぎから行われたウェイトリフティング競技女子58kg級に出場し、日本記録を更新する素晴らしい成績で見事5位入賞を果たしました。

これは、安藤選手のたゆまぬ努力の賜物であり、白井市民に夢と勇気、そして感動を与えてくださった安藤選手に敬意を表するものでございます。

2020年に開催される東京オリンピックでは、さらに飛躍されることを心より願っております。

また、9月3日土曜日、午前10時から、文化会館かおりホールで、安藤選手リオ五輪報告会を行います。この報告会は一般開放いたしますので、多くの方にご来場いただき、安藤選手の5位入賞をお祝いしたいと思います。

次に、「平成29年度当初予算編成方針」について申し上げます。

このことについて、平成28年8月31日に定めましたので、概要をお伝えします。

平成29年度は第5次総合計画前期基本計画の2年目であり、基本構想に掲げる市の将来像「ときめきとみどりあふれる快活都市」の実現に向け、計画事業の取組みを更に深めていく必要があります。

歳入については、一般財源で平成28年度当初予算と同等程度と見込まれていますが、歳出については今年度当初予算を上回ると見込まれていることから、身の丈に合った予算とするため、職員一人ひとりが選択と集

中のもと市の財政状況を踏まえ、事業の費用対効果を見極め、限られた財源の中で、創意工夫と柔軟な発想を持って、予算編成作業に取り組むこととしています。

基本方針では、二つの項目に留意します。

まず、「ときめきとみどりあふれる快活都市」を実現するため、総合計画で明示した3つの重点戦略に基づく事業に優先的・重点的に予算を配分することとします。

次に、行政経営改革として、行政経営指針及び公共施設等総合管理計画が現在策定中であるため、29年度の予算編成にあたっては、現行の行政改革大綱を踏襲するとともに、「策定中の公共施設等総合管理計画との整合」「アウトソーシングの推進」「白井K A I Z E N運動の徹底」を推進するとともに、行政経営有識者会議での検討内容をもとに先行して取り組めるものについては取り入れることとします。

この予算編成方針に基づき、効率的で効果的な予算編成を進めてまいります。

次に、「甲状腺エコー検査費用の一部助成」について申し上げます。

6月9日に桜台学童保育所付近で高線量が測定されたことを受け、6月30日付けで白井市議会議員20名から「東京電力福島第一原発事故による市内汚染状況の詳細調査等を求める要望書」が提出され、その中で「健康に不安を感じる子ども達のため、希望者に対しての検診の補助等を実施すること」が要望事項として挙げられました。議員総意の要望であることを重く受け止め、不安を抱えている子ども達に対する対応として、新たに甲状腺エコー検査費用の助成を10月から始めることとしました。

対象は、原発事故当時の0歳から高校3年生までとし、事故当時と検査日において白井市に住民登録がある方で、期間は、平成28年度から32年度までの5年間で、各年度1回までとなります。

補助率は、検査費用に対して1／2、上限は3,000円、生活保護受給世帯は全額対象で、上限は6,000円としています。

費用については、今議会の補正予算に計上しています。

また、「高線量の箇所が他にないか現状確認をすること」につきましては、さらなる市民の安心安全のため、現在行っております、公共施設の空間放射線量率の定期的な測定について、保育園・幼稚園を含む各小中学校で測定地点を増やして実施していくことといたしました。

次に「しろいの梨」のブランド化に向けた取り組みについて申し上げます。

8月5日金曜日に、白井駅出入口付近で、「しろいの梨」の試食販売イベント「エキなし」が昨年に引き続き行われました。

このイベントは、将来を担う市内の若手梨農家が結成した「しろい梨PR委員会」が「しろいの梨」のおいしさを多くの人に知ってもらいたいとの思いから企画したもので、幸水の試食と2kg約170袋の販売を行いました。午後6時30分の開始時間前から多くの方が列を作り、開始後20分ほどで完売するという大人気ぶりでした。

また、昨年に続き、9月16日にモンゴル国ウランバートルで開催される千葉銀行主催のビジネスマッチング商談会に白井市梨業組合、西印旛農業協同組合とともに参加することとなり、9月14日から18日まで、職員1名を派遣いたします。

今年は梨100kgを持参し、この期間中に現地のスーパーなどでの試食販売も併せて行う予定です。

タイ王国への輸出につきましては、本年も白井市梨業組合が9月21日からタイ王国で開催される千葉フェアに向け、10玉5kg箱35ケース、12玉5kg192ケースを輸出する予定です。

県内トップの生産量を誇る「しろいの梨」のさらなるブランド化に向け、様々な関係者と協力しながら、今後も積極的に取り組んでまいります。

最後に、「印西地区消防組合及び栄町消防広域化協議会」について申し上げます。

第2回定例会で栄町と印西地区消防組合の消防本部の広域化に係る検討、協議を開始したことについてお伝えしましたが、広域化の協議にあたっては、関係する白井市、印西市、栄町、印西地区消防組合及び千葉県による任意協議会を設置することとなり、8月23日に関係市町の首長、議長、消防長、消防団長及び千葉県防災危機管理部消防課長をメンバーとする「印西地区消防組合及び栄町消防広域化協議会」が発足し、同日第1回会議が開催され、私が会長に選任されたところです。

併せて同協議会の幹事会及び3つの専門部会並びに、印西地区消防組合及び栄町消防本部による事務局を設置しましたので、今後はこれらの組織を中心に協議・検討を進めていく事となります。

今後も経過についてご報告してまいります。

以上で諸般の報告を終わります。